平成２５年度第３回宗像市保育所・幼稚園・小学校連絡会（保育参観）実施報告

指　針	宗像市幼児教育振興プログラム		
基本施策	発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実		
目　標	保育所・幼稚園における幼児教育の成果を小学校生活に活かせるよう、幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化を図る。		
実 施 日	平成26年1月23日（木）	会　場	東海大学付属自由ケ丘幼稚園
実施内容	参観オリエンテーション、保育参観（年長クラス見学）、意見交換会		
出 席 者	小学校教諭14人　保育所保育士等14人　幼稚園教諭等11人　子ども育成課5人　教育政策課1人		

今年度から新たな取り組みとしてスタートした保幼小連絡会（保育参観）の第2回目を、1月23日（木）に東海大学付属自由ケ丘幼稚園で実施しました。小学校入学を間近に控えた年長クラスの子ども達の様子を参観した後、グループに分かれて意見交換を行い、日頃何を意識して指導にあたっているか、保幼から小学校へどのように繋いでいくべきか等を話し合いながら職員同士の交流を深めました。

《保育参観の趣旨》

○ 保育所・幼稚園における日常の様子を見学し、意見交換をすることにより、参加した幼児教育関係者、小学校関係者、行政等が相互に理解を深める機会とする。

○ 保育研修や研究会などのスキル向上や教育力促進といった目的ではなく、保幼小間に共通した課題や懸案事項について、連携を通して解決していく一環として行う。

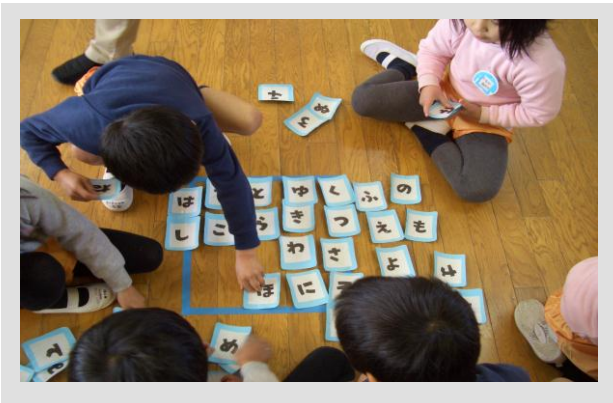
○ そのためには、平素からのコミュニケーションが不可欠なため、気軽に保育所・幼稚園を訪問し、言葉を交わすことを通して交流を深める。

○ 従って、保育参観の会場となる園は、「研究保育」や「講評会」といった色合いを薄め、なるべく日常の活動に準じた保育を行うものとする。

年長クラスを参観

当日の活動は、「グループあそび」。
子ども達は、グループの友達と協力してゲーム（①ジャンケンカード集め、②パズル合わせゲーム、③ことば集めゲーム）に挑戦しました。

▽ひらがなのカードを組み合わせて、ことば集めゲームに挑戦



『文字や数の入門期の子ども達が、遊びの中でどんどん吸収している姿を見ることができて良かった。
保幼での実践を聞かせていただき、小学校での参考になり、有意義な時間だった。』（小学校教諭）

意見交換会

▽グループ発表の様子

＊＊＊ グループ発表 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

○ このように意見交換できる連絡会はとても有意義。
○ 小学校区で連携について話し合う場があればいい。
○ 子ども達がしっかり育っていると感じた。
○ 指示がよく通っていた。
○ 人間関係づくり、ことば、数字を遊びの中でうまく取り入れていて、小学校につながっていると感じた。大変参考になった。
○ 文字や数字に興味を持たせることが大切。
○ 最後まで聞く力を身につけるために、活動の中で静と動のめりはりをつけることが必要。
○ ことば遊びや暗算等、どこまで育っているかは園によって差がある。
○ 保幼ではグループ行動が多い。小学校は個人やペア行動も多くなる。
○ どこまで育てるか、統一した目安を作ったほうが良い。
○ 年長でできていることを小学校へつなぎたい。

～参加者アンケートより～ （アンケート実施対象者数 37 人）

Q）職員同士の交流は深まりましたか。

とても深まった（9人） 深まった（23人） 普通（2人） 無回答（3人）

Q）本日のような保育参観の実施は、保幼小連携のために今後も必要だと思いますか。

ぜひ続けたほうがよい（19人） 続けたほうがよい（14人） どちらでもよい（1人）

あまり必要と思わない（0人） 必要ないと思う（0人） 無回答（3人）

保育所の意見

● 他園を見て、感じ、気づく事があった。特に、小学校の先生がどう感じているかを知ることができ、有意義な会だった。保育所から見た「学びの芽の継続」について、もっと訴えたいと思った。
● 文字や数など園によって様々なので、大まかなガイドラインがあった方が良いと思う。子どもの育ちにもいろいろあるので、一人一人にあった配慮が必要なことも多いと思う。

幼稚園の意見

● 園内での研究会とは違う気づきが多く、自分の保育を見直していきたいと感じた。
● とても勉強になった。小学校の先生は年長組を重点的に見たいと思われるかもしれないが、もう少し小さな子ども達がどのように基礎を作っていくのかを感じてもらうことも大切かもしれない。
● 小学校へあがる前に幼稚園で指導しておくポイントがよくわかった。

小学校の意見

● たくさんの活動やゲームで、小学校でもすぐに取り入れられそうな内容があり、とても参考になった。ありがとうございます。園で小学校に向けて様々なグループ活動（遊び）をしていただき、それがいろいろな教科や活動の基礎になっていると思った。
● 年長児の普段の姿を見ることができ、4月に入ってくる子ども達にどの程度の声掛けをしたら良いか参考になった。また、1学期に重点的に指導していく内容も見えてきたので、今回のような取り組みはありがたい。
● ほとんどの子が数や文字を使えて、それも特別な文字の指導をしていないということだったので（遊びの中で自然にということでした）、小学校でも取り入れて楽しく学ばせていきたいと思った。
● 話を聞くことは、保幼小共通の課題だと思った。言葉遊びをし始めると、子どもがぐっと人に話に集中する様子がわかり、小学校でも使えると思った。「保幼では子どもに遊びの中で興味関心を持たせることを重視している。」という話に納得した。連携の一歩だと思った。
● 「保幼でここまで育てて、それをもとに1年生でここから指導していく」といったような指針があるとよい。保幼小中一貫教育として目指していけたら良いと思う。